

平野小学校だより

すむ瞳

小学生には中学生への憧れを育て、中学生には小学生への思いやりを育てる
—平野地区小中接続だより—

令和元年12月10日
号外
発行者 高橋 政広
(重巢 吉美)

平野校区幼保小中接続特集号 No.2

平野小学校と平野中学校は、こどもの成長を総合的、連続的にとらえた指導体制を確立することにより、中1ギャップを克服し、学力の向上と不登校の減少等を図ることを目的に、小中接続事業を積極的に推進しています。

今年度2学期に実施した取組について「接続だより」としてまとめましたのでご覧ください。今回は、中学校の校長先生が執筆してくださいました。

2学期も元気なあいさつの声が響きました ～小中合同のあいさつ運動～

あいさつ運動は、小中接続事業の一環として、平野地区の小学生と中学生が協力して、明るいあいさつの響く学校を目指しており、最終的には、平野地区全体が、爽やかなあいさつに包まれる地域になることを願って実施しています。

2学期も9月19日と11月19日の2回実施されています。10月は中学校が文化祭の準備に専念するため実施しませんでした。12月19日は2学期最後の合同あいさつ運動を行う予定です。

また、中学校では生徒会の役員が改選され、11月からは新生徒会役員による新体制で実施されています。前期の生徒会役員からの伝統を引き継ぎ、さらにあいさつの和が広がるよう意欲的に活動する姿がみられました。小学校の企画委員会の児童とともに爽やかなあいさつに包まれる地域を目指して活動を続けていきたいと思えます。

平野小・中学校では校内でもそれぞれあいさつ運動を実施しています。全ての児童・生徒があいさつの重要性を理解し、自らあいさつができる人になるよう、保護者や地域の方々もあいさつの声をかけてくださいますようお願いいたします。



9/27 小2の児童が中学校を訪ねてきました ～町探検～

小学校の生活科の授業で町探検が行われました。地域の様々な場所を訪問して、見学や質問をしながら、地域のことを知る学習活動です。

平野中学校にも5・6名のグループが3班ほど訪問してきました。時間をかけて校舎内を見学したり校長に質問したりしていった班もありましたが、時間が不足してしまい、玄関先で質問だけしていった班もありました。小学校低学年から中学校のことを知り、中学校を意識してもらうことはとても意義のあることだと思います。そして、高学年になったら中学校では「こんなことがしたい」と目的意識をもって入学してほしいと思えます。

日頃、中学生ばかり相手にしている校長も、かわいい児童の訪問で顔がほころびました。



※ 裏に続きます

11/5 中学校はどんなところ？ ～小学6年生中学校訪問～

11月5日に平野小学校の6年生全員が中学校を訪問しました。これは、来年4月に迫った中学校への入学を前に、中学校の学習や生活、部活動等について理解し、中学校に入学する不安を少しでも解消するとともに、希望をもって入学することができるようにすることが目的です。

主な内容は次の3つです。

○ 授業参観

学校生活の中心はなんといっても授業です。中学校の授業に不安を抱いている児童も多いことと思います。内容は少し難しいと感じたかもしれませんが、小学校とそれほど変わらないと思ってもらえたと思います。

○ 中学校の生活と学習について中学3年生と懇談

右上段の写真のとおり、中学3年生とグループをつくり、中学校の学習や生活について小学校6年生が質問し、中学生が答える活動です。小学生の質問に中学生が的確に答えることができたかどうかは分かりませんが、班によっては笑い声が聞こえるなど和気あいあいとした雰囲気の中で交流していました。



○ 部活動見学

中学校では部活動がありますので、今から楽しみにしている児童もいると思います。自分たちで自由にいろいろな部活動を見学し、雰囲気を味わいました。中学校に入ってからも見学や体験の機会がありますが、部活動への意欲が高まるきっかけとなったようです。



小学校6年生の中学校訪問はどこの中学校区でも行われていると思いますが、2学期に実施する学校は少ないと思います。また、実際に児童が中学生と交流する機会があるのが平野中の特徴です。来年の4月には夢と希望に胸を膨らませ、中学校に入学してくることを心待ちにしています。

11/8 よりよい小中連携を目指して ～第2回幼保小中連携研究協議会～

11月8日午後、平野小学校において、平野小・中学校の全ての教職員が参加し、第2回の「平野幼保小中連携推進研究協議会」が開催されました。当日は研究協議会に先立ち小学校の全学級の授業の様子を参観させていただきました。今年度は、『道徳の授業充実』をテーマに前回の中学校での道徳の授業に続き、小学校の全学級で、道徳の授業を実施していただきました。低学年の道徳の授業から高学年の道徳の授業まで、小学校で行われている道徳の授業は中学校の教員にとってとても参考になるものでした。小学校での道徳の授業を踏まえ、中学校の道徳の授業をさらに充実したものにしなければならないと改めて感じたところです。

また、今回の研究協議会から幼稚園、保育園の先生方にも参加していただき、子どもたちの成長の様子を参観していただきました。幼保小中が連携するため具体的にどんなことをしていけば良いかは今後の課題になりますが、幼保小中連携のための第一歩を踏み出すことができました。

その後開催された研究協議会全体会では、福島市立蓬莱東小学校の渡邊裕樹校長先生をお招きし、『『特別の教科 道徳』のすすめ方』と題して講義をいただきました。

道徳教育の変遷や「特別の教科 道徳」になったことによる変更点、「考える」「議論する」道徳に転換するポイント等多くのご指導をいただきました。今後の道徳の授業を展開する上で参考にしていきたいと思っております。

その後、「学力向上・授業改善部」「学習習慣・家庭学習部」「生徒指導・保健教育部」「連携・交流活動推進部」の4つグループに別れ、本年度の取組に関する反省や次年度に向けた取組について話し合われました。それらの反省や意見を踏まえ、効果的で、持続可能な取組について幼保小中で検討していきたいと思っております。

